

資料番号	8
------	---

令和7年10月17日
課名 農林水産局農業技術課
担当者 課長 月岡
内線 3556

ひろしま型スマート農業推進事業の技術改良を促進する セミナー（なし・りんごの取組）の開催について

1 要旨・目的

令和5年度に実証を開始（実証期間：令和5～7年度）したテーマ「なし・りんごなど落葉果樹の気象災害対策及び省力化技術の確立」に係るセミナーを開催し、これまで開発した技術を紹介するとともに、普及に向けた改良への意見を収集する。

2 現状・背景

落葉果樹経営の収益性向上に向けて、霜害対策による生産安定及び受粉、除草作業等栽培管理作業の省力化・軽労化が大きな課題となっている。

これに対して、霜害発生の可能性を事前に通知する霜害予測アラートシステム、上空との気温差により制御する防霜ファン、ドローンによる受粉作業及びスマートフォン位置情報を活用した効率的な作業記録と産地全体での活用等の実証を進めている。

こうした技術の導入により、生産安定による収量向上、作業時間の削減を収益性向上につなげることで、落葉果樹産地の発展を目指している。



3 概要（セミナーの開催概要）

- (1) 実施主体 ひろしまスマート農業推進協議会（事務局：広島県農林水産局農業技術課）
- (2) 実施期間（日時） 令和7年11月14日（金）13：00～15：40
- (3) 場所

座学：せらにしタウンセンター/つばきホール（広島県世羅郡世羅町大字小国 3381）

見学・体験：（農）世羅大豊農園ほ場（広島県世羅郡世羅町大字京丸 10804-1）

- (4) 実施内容

ア 気象災害対策：農地環境測定システムによる生育予測（説明・体験）、気温差による防霜ファン制御方式（説明・見学）

イ 省力化・軽労化技術：スマートフォン位置情報を活用した効率的な作業記録と産地全体での活用（説明・体験）、ロボット草刈り機による作業省力化（説明・見学）

ウ 生産安定：走行軌跡記憶装置による機械操作技術の標準化（説明）、ドローンによる融雪剤散布（説明）

(5) **参集範囲**

農業者、企業、市町、J A、団体及び県機関等

4 今後の対応

今年度実証が終了する3テーマの成果について、ひろしまスマート農業推進協議会の実績報告会を開催し、農業者等へ幅広く周知する。

令和7年度スマート農業体験セミナー

「気象予測による霜害対策と、ドローン・効率的な作業記録などを活用した落葉果樹の軽労・省力な栽培管理技術を体験！」

開催日時

令和7年11月14日（金）13:00～15:40 受付開始 12:30～

開催場所

座学：せらにしタウンセンター/つばきホール（世羅町大字小国3381）【集合場所】
見学：（農）世羅大豊農園ほ場（世羅町大字京丸10804-1）

セミナー概要

ひろしま型スマート農業推進事業（愛称：「ひろしまseedbox」）のテーマ「なし・りんごなど落葉果樹の気象災害対策及び省力化技術の確立」において実証しているシステムや機器の試行版を農業者などに紹介し、意見交換を行い、普及できる技術への改良につなげるためセミナーを開催します。

- 内 容：**
- ①気象災害対策：農地環境測定システムによる生育予測、気温差による防霜ファン制御方式
 - ②省力化・軽労化技術：スマートフォン位置情報を活用した効率的な作業記録と産地全体での共有、ロボット草刈り機
 - ③生産安定対策：走行軌跡記憶装置による農業機械操作技能の標準化、ドローンによる融雪剤散布

参加対象： 農業者、企業、市町、J A、団体、県機関等

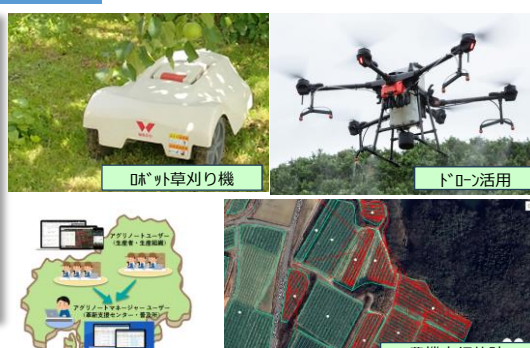
気象災害対策



省力化・軽労化技術



生産安定



※掲載写真はイメージです。

効率的な作業記録

実証プロジェクト概要

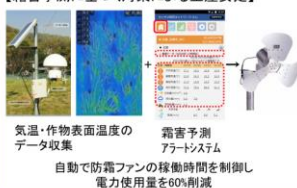
落葉果樹経営の収益性向上に向け、大きな課題となっている霜害に対し、気象予測に基づく対策を実施する。

また、開花日の予測に基づくドローンなどを活用した受粉、スマートフォンを活用した効率的な作業記録やロボット草刈り機などにより省力化・軽労化を図る。

更に、走行軌跡記録装置による農業機械操作技能の標準化などに取り組み、落葉果樹産地の発展を目指す。

- 特徴的な提案：霜害予測と連動した防霜対策及び開花予測と連動した効率的なドローン・SSによる受粉作業
○主な目標：面積当たり収量20%増と売上高10%向上、作業時間20%削減

【霜害予測に基づく対策による生産安定】



【栽培管理作業の省力化・軽労化】

- ①開花日の予測データに基づくドローン・SSによる溶液受粉
受粉作業時間80%削減と着果率60%を実現
- ②ドローンによる液肥散布
液肥散布時間の80%削減
- ③効率的な農作業記録の収集と管理（アグリノート）
スマートフォンのGPS位置情報を活用した効率的な農作業記録を実現
記録作業時間10%削減



【様々な課題に対応】

- ①課題解決の知見を産地全体で共有（アグリノートマネージャー）
産地農業DXツールを活用し、成功事例を効率的に産地に展開
- ②ロボット草刈り機の活用
年間作業時間50%削減
- ③カラス被害による収量現象の抑制
LEDレーザー装置によるカラス撃退
- ④樹木の生育状況の可視化
カメラ付きドローンにより園地を空撮し、マップ上に生育状況を表示
- ⑤農業機械操作技能の標準化
走行軌跡記録装置（レボサク）による作業速度・軌跡などの記録と改善
- ⑥霜害対策による園地の保全、生育遅れの防止
ドローンにより融雪剤を散布、枝折れや倒木を防止



申込み先

広島県DX推進コミュニティ <https://hirosshima-dx.jp/pages/449/>

問い合わせ先

ひろしまスマート農業推進協議会
（広島県農業技術課スマート農業推進担当）TEL：082-513-3533



注意事項：

- ・ 広島県DX推進コミュニティのアクティビティ「ひろしまseedbox」に登録のうえ、本セミナーにお申込みください。
- ・ セミナーは現地集合です。現地までの交通費、交通手段はご用意ください。駐車場は利用できますが、座学会場から見学会場への移動も計画しており、できるだけ乗り合わせてお越しください。
- ・ 天候などによりセミナーの中止、内容の変更の可能性があります。その場合は登録されたメールアドレス等にご連絡します。
- ・ 本セミナーには原則として個人でお申込みください。